

平成28年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

③課題:アズキ茎疫病圃場抵抗性のマーカー開発とDNAマーカー選抜による小豆重要土壌病害抵抗性選抜の効率化

代表者:北海道立総合研究機構 中央農業試験場 主査 小倉玲奈

目的

茎疫病圃場抵抗性DNAマーカーを開発する。また、落葉病抵抗性および萎凋病抵抗性DNAマーカーを利用することにより、小豆の重要土壌病害複合抵抗性選抜を効率化する。

成果

①茎疫病圃場抵抗性DNAマーカーの開発

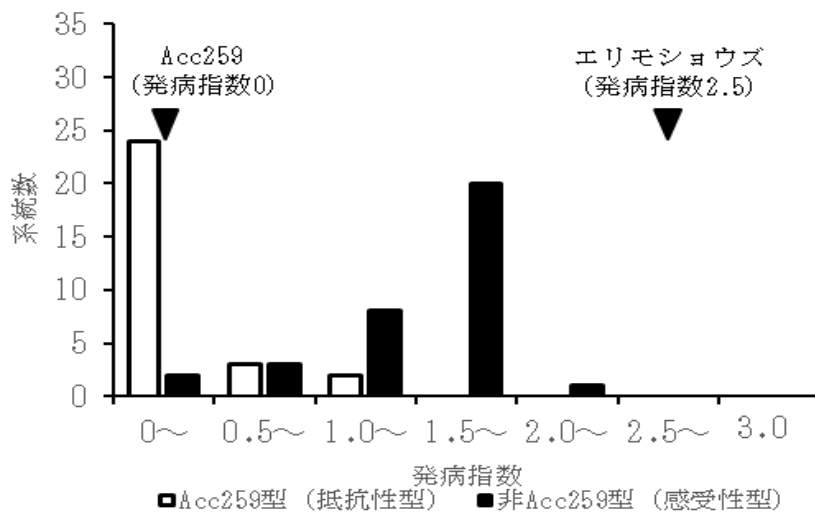
・茎疫病圃場抵抗性を選抜できるDNAマーカーを2つ開発し、その有効性を検証した。

②新たな萎凋病抵抗性DNAマーカーの開発

・「Acc259」(萎凋病抵抗性)由来のDNAマーカーを作成して検証したところ、アズキ萎凋病抵抗性を精度良く判定でき、選抜マーカーとして有効であった(下図)。

③DNAマーカーを利用した複合抵抗性系統の選抜

・落葉病抵抗性および萎凋病抵抗性DNAマーカー検定を実施し、交配した1027系統のうち、616系統を抵抗性と判定した。



マーカー遺伝子型の違いによる発病指数の違い